

## 相次ぐ閣僚辞任

# 岸田総理の任命責任、 対応の遅れを追及!



臨時国会も後半戦に入り、総合経済対策のための第2次補正予算案や旧統一教会などによる高額献金や霊感商法の被害者救済に向けた法整備などが大きな争点となっています。こうした中で、山際大臣に続いて、葉梨法務大臣が不適切極まりない発言の責任を取って辞任しました。2人とも事実上の更迭です。相次ぐ閣僚辞任に対する岸田総理の任命責任は厳しく問われなければなりません。山際氏は物価高への対応を中心とした総合経済対策の取りまとめの直前、葉梨氏は岸田総理がアジア3カ国歴訪に出発する直前のタイミングでの辞任となり、国会審議は混乱し、外交日程にも影響が及びました。岸田総理の判断の遅れが大きな原因であり、危機管理に対する姿勢についても厳しく追及してまいります。

複数の自民党議員が国政選挙の際、旧統一教会の関連団体と事実上の政策協定を結んでいた問題について、岸田総理は、党として実態を調査することを拒んでいます。また、寺田総務大臣や秋葉復興大臣には、政治とカネを巡る問題も明らかになりました。「信頼と共感の政治」を掲げる岸田総理に対して、こうした疑惑の解明に向けて指導力を発揮することを強く求めたいと思います。

第2次補正予算案には、物価上昇に対応するために電気・ガス代の負担軽減や子育て支援などが盛り込まれています。しかし、30兆円近い大規模な予算の財源の大半は国の借金である赤字国債です。規模ありきで議論が進められた形跡もあり、ムダづかいのない本当に国民のためになる予算になっているのか、国会審議を通じてしっかりとチェックしてまいります。

2021年度の不登校の小中学生が過去最多の24万4940人になりました。前年度から約25%（4万8813人）も増えています。10年前と比べてほぼ倍増しています。急増の背景には、長引くコロナ禍のストレスも指摘されています。後半国会では、子育てや教育政策についても「人づくりなくして国づくりなし」の信念の下、引き続きがんばってまいります。



# 笠ひろふみ

りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣







# 国会活動

# 国会対応の先頭に立つ!

統一教会による高額献金の被害者救済法案について与野党協議会を設置し、今国会での成立を目指すことで合意しました。

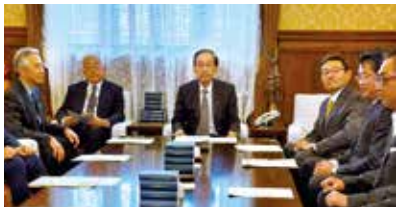
立憲民主党と日本維新の会はすでに「悪質献金被害救済法案」を提出しています。この中では、マインドコントロール下での高額献金などの要求を「特定財産損害誘導行為」として規定し、罰則付きで禁じています。また、本人だけでなく、配偶者や子どもなど「特別補助人」が返金を求めることを可能としています。与党側が骨抜きの内容にしないようしっかりと対応してまいります。



10.21 自民、公明、立憲、日本維新の会による与野党協議会の初会合

安倍元総理の国葬について検証する与野党協議会を設置しました。

政府関係者や有識者のヒアリング等を行い、今国会の会期末をめどに一定の結論を出す方針です。岸田総理は、国会での議論を全く行わずに国葬を決定しました。私は、国葬を決定するためには、少なくとも国権の最高機関である国会の議決が必要だと考えます。今回の決定に至るプロセスの問題点などを整理し、国会の関与の必要性について議論します。



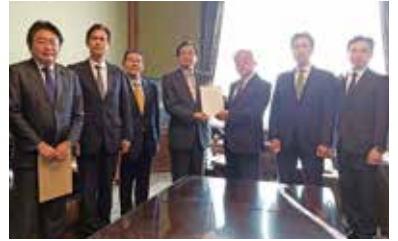
10.27 衆院議院運営委員会理事会

臨時国会の召集要求に対し、20日以内の召集を内閣に義務付ける国会法改正案の議論がスタートしました。



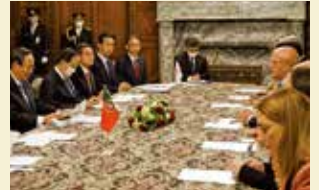
11.15 国会法改正及び国会改革に関する小委員会

調査研究広報滞在費（旧文書通信交通滞在費）の用途の公表などを定めた法案を日本維新の会、国民民主党と共同で提出しました。



11.17 歳費法等改正案を提出

ポルトガル共和国のサントス・シルヴァ議会議長一行と会談 11.15



日本語教育推進議員連盟の幹事長として、永岡文部科学大臣に日本語教育の更なる推進へ向けた提言を行いました 11.16



全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会 10.23



横田早紀江さん

笠は超党派の拉致議連事務局長代理として決議案を朗読しました

## 麻生区

来年4月の川崎市議会議員選挙に向けて全力で活動中!!

## 多摩区



あまがさ裕治市議



こばりか子市議



鈴木朋子市議



しまだ和明さん



田倉俊輔さん